

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-92341

(P2002-92341A)

(43) 公開日 平成14年3月29日 (2002.3.29)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード(参考)
G 0 6 F 17/60	2 3 4	G 0 6 F 17/60	2 3 4 Z
	2 2 0		2 2 0
	2 3 4		2 3 4 A
	5 0 6		5 0 6
19/00	1 1 0	19/00	1 1 0
審査請求 未請求 請求項の数21 O L (全 21 頁)			

(21) 出願番号 特願2001-128797(P2001-128797)

(22) 出願日 平成13年4月26日 (2001.4.26)

(31) 優先権主張番号 特願2000-210053(P2000-210053)

(32) 優先日 平成12年7月11日 (2000.7.11)

(33) 優先権主張国 日本 (J P)

(71) 出願人 397047659

株式会社エムアイティ

愛知県名古屋市中区栄四丁目14番31号

(72) 発明者 松久 久也

愛知県名古屋市中区栄四丁目14-31 株式

会社エムアイティ内

(74) 代理人 100095751

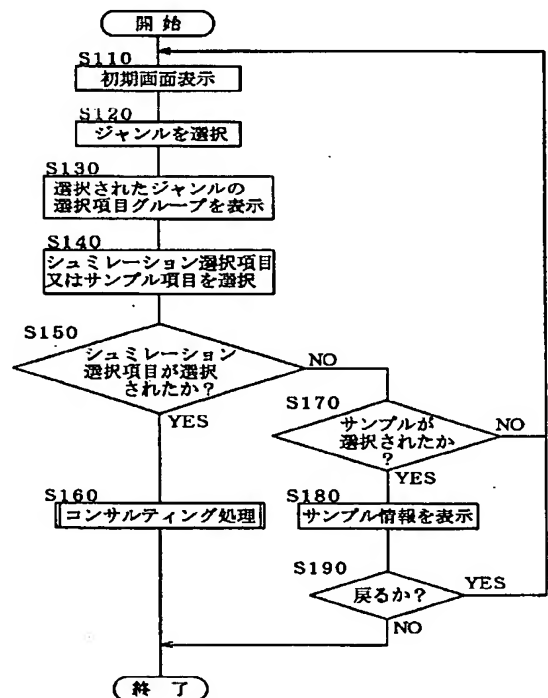
弁理士 菅原 正倫

(54) 【発明の名称】 情報提供方法、情報提供システム、営業支援方法、営業支援システム及びコンピュータ読取可能なプログラム

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 個人の消費生活においてマネープランを確立するために有用な情報を当該利用者に対し提供することができる情報提供方法、情報提供システムを提供する。

【解決手段】 ユーザー端末装置に、個人の消費生活にて発生する種々の経済イベントに関連した複数のシミュレーション選択項目を選択可能に表示する。いずれかのシミュレーション選択項目が選択されることに基づき、対応するシミュレーションプログラムモジュールを読み出す。そして、表示装置において、シミュレーション当事者の経済的数値パラメータを含むシミュレーション前提条件情報を入力することにより、選択されたプログラムモジュールにより経済シミュレーションを行いその結果を出力する。さらに、そのシミュレーション結果の当事者への適合性を評価するための当該当事者固有の評価参照情報を入力することにより、選択項目に関連した評価結果情報を生成・出力する。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ユーザー端末装置と、そのユーザー端末装置と通信網を介して接続されるホスト装置とを有する通信ネットワーク上において、

前記ユーザー端末装置に設けられた表示装置において、個人の消費生活にて発生する種々の経済イベントに関連した複数のシミュレーション選択項目を選択可能に表示し、

その表示装置上で、いずれかの前記シミュレーション選択項目が選択されることに基づき、その選択されたシミュレーション選択項目に対応するシミュレーションプログラムモジュールがプログラムモジュール記憶手段より読み出され、

前記表示装置において、前記選択されたシミュレーション選択項目に関係する、シミュレーション当事者の経済的数値パラメータを含むシミュレーション前提条件情報が入力されることにより、これを用いて、選択された前記プログラムモジュールにより経済シミュレーションを行い、その結果を出力するとともに、

さらに、そのシミュレーション結果の前記当事者への適合性を評価するための当該当事者固有の評価参照情報が入力されることにより、該評価参照情報と前記シミュレーション結果とに基づいて前記選択項目に関連した評価結果情報を生成・出力することを特徴とする情報提供方法。

【請求項 2】 前記評価結果情報は、複数の評価フェーズに分割されたコメント情報を有するとともに、それら評価フェーズの少なくとも一つを構成するコメント情報が複数のコメントセグメントの集合として記述され、前記評価フェーズに対応して用意された複数のコメントセグメント群より、評価結果に応じて必要なものを選択し、これを結合することにより各評価フェーズのコメント情報を生成する請求項 1 に記載の情報提供方法。

【請求項 3】 前記複数の評価フェーズは、選択されたシミュレーション選択項目において、前記シミュレーション結果から導かれる前記当事者固有の問題を提起する問題提起フェーズと、その提起された問題を解決するための具体的方法をアドバイスするための解決アドバイスフェーズと、を含む請求項 2 に記載の情報提供方法。

【請求項 4】 通信ネットワークを介して前記ユーザー端末装置とコンサルタントが操作するコンサルタント側データ処理装置とを接続し、前記ユーザー端末装置からの要求により、そのユーザーに対する前記シミュレーション結果を参照しつつコンサルティングメッセージを前記コンサルタント側データ処理装置にて作成し、これを前記通信網を介して前記ユーザー端末装置へ送信する請求項 1 ないし 3 のいずれかに記載の情報提供方法。

【請求項 5】 通信ネットワークを介して、前記ユーザー端末装置と、前記シミュレーション結果に応じて推奨

される金融商品情報を発信する経営主体ごとに設けられた発信元処理装置とを接続する一方、前記ユーザー端末装置に設けられた送信手段により、前記シミュレーション前提条件情報及び／又は前記シミュレーション結果情報を前記発信元処理装置に送信し、

さらに、前記発信元処理装置における金融商品選択手段により、前記シミュレーション前提条件情報及び／又は前記シミュレーション結果の少なくともいずれかに基づいて、当該発信元処理装置において蓄積されている金融商品情報から推奨されるものを選択し、その選択された金融商品情報をその発信元処理装置における送信手段にて前記通信網を介して前記ユーザー端末装置へ送信する請求項 1 ないし 4 のいずれかに記載の情報提供方法。

【請求項 6】 前記金融商品情報が複数の発信元処理装置において生成された場合、各発信元処理装置において生成される金融商品情報を複数集合させた返答集合情報を前記ホスト装置における返答集合情報生成手段により生成し、かつその生成された返答集合情報を、前記ユーザー側端末装置の表示手段においてその返答集合情報に係る複数の金融商品情報のうちの一部又は、全部が、経営主体ごとに一覧表示されるように、前記送信手段にて前記ユーザー端末装置に送信する請求項 5 に記載の情報提供方法。

【請求項 7】 請求項 1 ないし 6 のいずれかに記載の情報提供方法を用いることにより前記ユーザー端末装置における前記表示装置にて前記シミュレーション結果を出力するとともに、その出力されるシミュレーション結果に係るシミュレーション選択項目と対応付けられる経営主体に所属する営業者の固有の携帯移動端末（以下、営業者固有携帯移動端末ともいう）、又は前記営業者固有のデータ取得先の記憶手段に対して、前記シミュレーション当事者の名称、住所、連絡先情報、及びその出力されるシミュレーション結果に係るシミュレーション選択項目を送信することを特徴とする営業支援方法。

【請求項 8】 請求項 6 に記載の情報提供方法を用いることにより前記ユーザー端末装置における前記表示装置にて前記シミュレーション結果を出力するとともに、そのユーザー端末装置において前記返答集合情報として表示される前記金融商品情報の中からいずれかの金融商品情報が選択されることに基づいて、その選択された返答集合情報と対応付けられる経営主体に所属する営業者の固有の携帯移動端末（以下、営業者固有携帯移動端末ともいう）に対して、前記シミュレーション当事者の名称、住所、連絡先情報、及びその出力されるシミュレーション結果に係るシミュレーション選択項目に関する情報を送信することを特徴とする営業支援方法。

【請求項 9】 ユーザー端末装置と、そのユーザー端末装置と通信網を介して接続されるホスト装置と、該ホスト装置と無線通信網を介して接続される携帯移動端末を用いてなされる営業支援方法であって、

10

20

30

40

50

前記ユーザー端末装置に設けられた表示装置において、個人の消費生活にて発生する種々の経済イベントに関連した複数のシミュレーション選択項目が選択可能に表示されるように、その複数のシミュレーション選択項目に関する情報を前記ホスト装置における出力手段にて前記ユーザー端末装置に向けて出力し、その表示装置上で、ユーザーによりいずれかの前記シミュレーション選択項目が選択され、かつそのユーザーの氏名、住所、電話番号等の顧客基礎情報が入力されることに基づいて、そのシミュレーション選択項目と顧客基礎情報とを前記ホスト装置における前記出力手段により営業者固有の携帯移動端末（以下、営業者固有携帯移動端末ともいう）に向けて、又はその営業者固有のデータ取得先の記憶手段にて記憶可能となるよう該データ取得先記憶手段に向けて出力することを特徴とする営業支援方法。

【請求項 10】 前記シミュレーション選択項目と、前記金融商品を提供する経営主体の連絡先情報とを対応付けて前記ホスト装置に記憶しておき、前記ユーザーによりシミュレーション選択項目が選択されることに基づいて、その選択されたシミュレーション選択項目と対応付けられる経営主体の連絡先情報に基づいて特定される該経営主体側に設けられた端末装置を介し、その経営主体に関する営業者の携帯移動端末に向けて前記顧客基礎情報を送信するか、又は、経営主体側端末装置を介さずに前記経営主体の連絡先情報に基づいてその経営主体に関する営業者の携帯移動端末に向けて前記顧客基礎情報を送信することを特徴とする請求項 8 又は 9 に記載の営業支援方法。

【請求項 11】 請求項 1 ないし 10 いずれかに記載の方法を実施するために、その方法のステップをコンピュータで実行させる、記録媒体に格納された又は利用可能な状態におかれたコンピュータ読み取り可能なコンピュータプログラム。

【請求項 12】 ユーザー端末装置に通信網を介して接続されるホスト装置を有するとともに、前記ユーザー端末装置に設けられた表示装置において、個人の消費生活にて発生する種々の経済イベントに関連した複数のシミュレーション選択項目を選択可能に表示するシミュレーション選択項目表示制御手段と、シミュレーションプログラムモジュールを記憶するプログラムモジュール記憶手段と、前記表示装置において、いずれかの前記シミュレーション選択項目が選択されることに基づき、その選択されたシミュレーション選択項目に対応する前記シミュレーションプログラムモジュールを前記プログラムモジュール記憶手段より読み出す、プログラムモジュール読出手段と、前記表示装置において、前記選択されたシミュレーション選択項目に関係する、シミュレーション当事者の経済

的数値パラメータを含むシミュレーション前提条件情報が入力されることにより、これを用いて、読み出された前記シミュレーションプログラムモジュールにより経済シミュレーションを行うシミュレーション実行手段と、そのシミュレーションにより得られたシミュレーション結果を出力するシミュレーション結果出力手段と、そのシミュレーション結果の前記当事者への適合性を評価するための当該当事者固有の評価参照情報が入力されることにより、該評価参照情報と前記シミュレーション結果とに基づいて前記選択項目に関連した評価結果情報を生成する評価情報生成手段と、その生成された評価結果情報を出力する評価情報出力手段と、を有することを特徴とする情報提供システム。

【請求項 13】 前記複数のシミュレーション選択項目がそれぞれ関連した複数のジャンルに分類されるとともに、各ジャンルごとのシミュレーション選択項目グループがグループ別に表示される請求項 12 に記載の情報提供システム。

【請求項 14】 前記複数のジャンルに関連した選択項目（以下、ジャンル選択項目ともいう）を前記表示装置において選択可能にジャンル選択項目表示制御手段と、前記表示装置において、いずれかのジャンル選択項目が選択されることに基づき、その選択されたジャンル選択項目に対応する前記シミュレーション選択項目グループを表示するグループ表示制御手段と、を有する請求項 13 に記載の情報提供システム。

【請求項 15】 前記ジャンルは、教育、住宅、老後、結婚、資産運用、相続、贈与の少なくともいずれかに關するものである請求項 13 又は 14 に記載の情報提供システム。

【請求項 16】 前記評価結果情報は、複数の評価フェーズに分割されたコメント情報を有するとともに、それら評価フェーズの少なくとも一つを構成するコメント情報が複数のコメントセグメントの集合として記述され、前記評価フェーズに対応して用意された複数のコメントセグメント群より、評価結果に応じて必要なものを選択し、これを結合することにより各評価フェーズのコメント情報を生成する請求項 12 ないし 15 のいずれかに記載の情報提供システム。

【請求項 17】 前記複数の評価フェーズは、選択されたシミュレーション選択項目において、前記シミュレーション結果から導かれる前記当事者固有の問題を提起する問題提起フェーズと、その提起された問題を解決するための具体的方法をアドバイスするための解決アドバイスフェーズと、を含む請求項 16 に記載の情報提供システム。

【請求項 18】 通信ネットワークを介して前記ユーザー端末装置とコンサルタントが操作するコンサルタント側データ処理装置とを接続し、前記ユーザー端末装置か

らの要求により、そのユーザーに対する前記シミュレーション結果を参照しつつコンサルティングメッセージを前記コンサルタント側データ処理装置にて作成し、これを前記通信網を介して前記ユーザー端末装置へ送信する請求項 12 ないし 17 のいずれかに記載の情報提供システム。

【請求項 19】 通信ネットワークを介して、前記ユーザー端末装置と、前記シミュレーション結果に応じて推奨される金融商品情報を発信する経営主体ごとに設けられた発信元処理装置とを接続する一方、前記ユーザー端末装置に設けられた送信手段により、前記シミュレーション前提条件情報及び／又は前記シミュレーション結果情報を前記発信元処理装置に送信されることに基づいて、その送信された発信元処理装置における金融商品選択手段により、前記シミュレーション前提条件情報及び／又は前記シミュレーション結果の少なくともいずれかに基づいて当該発信元処理装置において蓄積されている金融商品情報から推奨されるものを選択し、その選択された金融商品情報をその発信元処理装置における送信手段にて前記通信網を介して前記ユーザー端末装置へ送信する請求項 12 ないし 18 のいずれかに記載の情報提供システム。

【請求項 20】 前記発信元処理装置において、前記シミュレーション前提条件情報及び／又は前記シミュレーション結果と対応付けられる形にて金融商品が定められて金融商品情報記憶手段に記憶されており、当該発信元処理装置に設けられた前記金融商品情報を抽出する金融商品情報抽出手段が、前記金融商品情報記憶手段から前記ユーザー端末装置より送信される前記シミュレーション前提条件情報及び／又は前記シミュレーション結果情報に対応する金融商品情報を抽出し、これをその送信元のユーザー端末装置へ出力する請求項 19 に記載の情報提供システム。

【請求項 21】 請求項 12 ないし 20 のいずれかに記載の情報提供システムを用い、前記ユーザー端末装置における前記表示装置にて前記シミュレーション結果を出力するとともに、その出力されるシミュレーション結果に係るシミュレーション選択項目と対応付けられる経営主体に所属する営業者の固有の携帯移動端末（以下、営業者固有携帯移動端末ともいう）、又は前記営業者固有のデータ取得先の記憶手段に対して、前記シミュレーション当事者の名称、住所、連絡先情報、及びその出力されるシミュレーション結果に係るシミュレーション選択項目に関する情報を営業者用の情報として送信する営業者用情報送信手段を有することを特徴とする営業支援システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、情報提供方法、情報提供システム、及びコンピュータ読取可能な記録媒体

（コンピュータ読取可能なプログラムを含む）に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、個人の消費活動に関するコンサルティングは、属人的な側面が多く、サービス提供の量産化の壁を破ることが極めて困難であった。また、消費者は、一つの課題を解決するためには多大な時間と、労力を割かなければならず、費用面に関していえば、コンサルティングにはコンサルティング情報提供者（例えば、銀行、証券会社、保険会社、不動産会社、税理士、公認会計士、弁護士、その他コンサルティング経営主体等）に対し多大な費用が必要となり、個人等の一般消費者が気軽に行えるものとは到底言えなかった。また、個人の消費生活における経済イベントは多種にわたり、各経済イベントごとに最適なマネープランを確立するためには、その経済イベントごとに専門的なコンサルティングを行うことが望ましいのであるが、そのようなことは費用的、或いは時間的に不可能に近い。そして、現状では、マネープランの設計は、個人等が自身の経験則、或いは書籍、メディア等の情報に基づいて行うのが一般的である。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 本発明の解決すべき課題は、個人の消費生活において信頼性の高いマネープランを確立するために、利用者にとって極めて有用な情報を当該利用者に対し容易に、かつ安価に提供することが可能となる情報提供方法、情報提供システム及びコンピュータ読取可能な記録媒体を提供することにある。

【0004】

【課題を解決するための手段及び作用・効果】 上記のような課題を解決するために本発明は、ユーザー端末装置と、そのユーザー端末装置と通信網を介して接続されるホスト装置とを有する通信ネットワーク上において、前記ユーザー端末装置に設けられた表示装置において、個人の消費生活にて発生する種々の経済イベントに関連した複数のシミュレーション選択項目を選択可能に表示し、その表示装置上で、いずれかの前記シミュレーション選択項目が選択されることに基づき（即ち、ユーザー端末装置における入力手段の操作により、表示されたいずれかのシミュレーション選択項目が選択されることに基づいて）、その選択されたシミュレーション選択項目に対応するシミュレーションプログラムモジュールがプログラムモジュール記憶手段より読み出され、前記表示装置において、前記選択されたシミュレーション選択項目に係る、シミュレーション当事者の経済的数値パラメータを含むシミュレーション前提条件情報が入力されることにより、これを用いて、選択された前記プログラムモジュールにより経済シミュレーションを行い、その結果を出力するとともに、さらに、そのシミュレーション結果の前記当事者への適合性を評価するための当該当

事者固有の評価参照情報が入力されることにより、該評価参照情報と前記シミュレーション結果とに基づいて前記選択項目に関連した評価結果情報を生成・出力することを特徴とする情報提供方法を提供する。

【0005】上記方法によれば、個人の消費生活にて発生する種々の経済イベントが、シミュレーション選択項目として単一の表示インターフェースにて選択可能となっているため、その表示インターフェースにアクセスしさえすれば、ユーザーは自身が必要とする経済テーマを容易に選択でき、経済に関する種々の分野の経済シミュレーションをユーザー側端末装置（以下、ユーザー端末ともいう）にて受けることができる。また、ユーザー側端末装置は、例えば、インターネット等を介してホスト装置と接続する構成とすれば、あらゆる場所からシミュレーション、及びそのシミュレーションの評価を受けることができる。従って、当事者となるユーザーにとっては、コンサルティングサービスを受けるために、経済イベントに関する業務を行う経営主体を探す必要が無くなり、また経営主体を訪問する必要も無くなる。上記方法は、コンサルティングにおいて当事者が敷居を高くする経営主体との対話、経営主体への訪問等、種々の要因を解決でき、当事者のライフプランの向上に大いに寄与する。

【0006】本発明はさらに、ユーザー端末装置に通信網を介して接続されるホスト装置を有するとともに、前記ユーザー端末装置に設けられた表示装置において、個人の消費生活にて発生する種々の経済イベントに関連した複数のシミュレーション選択項目を選択可能に表示するシミュレーション選択項目表示制御手段と、シミュレーションプログラムモジュールを記憶するプログラムモジュール記憶手段と、前記表示装置において、いずれかの前記シミュレーション選択項目が選択されることに基づき、その選択されたシミュレーション選択項目に対応する前記シミュレーションプログラムモジュールを前記プログラムモジュール記憶手段より読み出す、プログラムモジュール読出手段と、前記表示装置において、前記選択されたシミュレーション選択項目に関係する、シミュレーション当事者の経済的数値パラメータを含むシミュレーション前提条件情報が入力されることにより、これを用いて、選択された前記プログラムモジュールにより経済シミュレーションを行うシミュレーション実行手段と、そのシミュレーションにより得られたシミュレーション結果を出力するシミュレーション結果出力手段と、そのシミュレーション結果の前記当事者への適合性を評価するための当該当事者固有の評価参照情報が入力されることにより、該評価参照情報と前記シミュレーション結果とに基づいて前記選択項目に関連した評価結果情報を生成する評価情報生成手段と、その生成された評価結果情報を出力する評価情報出力手段と、を有することを特徴とする情報提供システムを提供する。

【0007】上記構成によれば、前述した方法発明を好適に行い得る装置発明となる。特に、通信ネットワーク構成が採られているため、遠隔地のユーザーであってもホスト装置にアクセスしさえすれば容易に経済コンサルティングを受けることができる。これにより、経済に関する種々のコンサルティング経営主体（例えば、銀行、証券会社、保険会社、不動産会社、税理士、公認会計士、弁護士、その他コンサルティング事務所等）に対して個別にコンタクトをとる必要がなく、ユーザー端末装置から種々のコンサルティングサービスを手軽に受けることができる。また、経営主体側にとっては、顧客を獲得するための営業活動、顧客側への訪問、顧客に提示する書類作成等の種々の労力、或いは時間を削減できるためコンサルティングに伴うコストを削減でき、コンサルティング料金の大幅な値下げを行い得る。これにより、従来において敷居の高かったコンサルティングの大衆化が実現できる。

【0008】複数のシミュレーション選択項目をそれぞれ関連した複数のジャンル（例えば、教育、住宅、老後、結婚、資産運用、相続、贈与等）に分類し、各ジャンルごとのシミュレーション選択項目グループをグループ別に表示するようにできる。生活の様々な課題がジャンル別に分類されれば、ユーザーは、自身が直面する経済イベントをジャンルに基づき容易に探し出すことができ、アクセスの簡易化、迅速化に寄与する。

【0009】さらには、上記方法及びシステムに関連して、ユーザー端末装置と、そのユーザー端末装置と通信網を介して接続されるホスト装置とを有する通信ネットワーク上において、前記ユーザー端末装置に設けられた表示装置において、個人の消費生活にて発生する種々の経済イベントに関連した複数のシミュレーション選択項目を選択可能に表示するステップと、その表示装置上で、いずれかの前記シミュレーション選択項目が選択されることに基づき、その選択されたシミュレーション選択項目に対応するシミュレーションプログラムモジュールをプログラムモジュール記憶手段より読み出すステップと、前記表示装置において、前記選択されたシミュレーション選択項目に関係する、シミュレーション当事者の経済的数値パラメータを含むシミュレーション前提条件情報が入力されることにより、これを用いて、選択された前記プログラムモジュールにより経済シミュレーションを行うステップと、そのシミュレーション結果を前記ユーザー端末装置にて出力するステップと、前記シミュレーション結果の前記当事者への適合性を評価するための当該当事者固有の評価参照情報が入力されることにより、該評価参照情報と前記シミュレーション結果とに基づいて前記選択項目に関連した評価結果情報を生成するステップと、その生成された評価結果情報を前記ユーザー端末装置にて出力するステップとをそれぞれコンピュータに実行させることを特徴とするコンピュータ読取

可能な記録媒体を用いるようにしてもよい。または、それらステップをコンピュータに実行させることを特徴とするコンピュータ読取可能なプログラムを用いてもよい。

【0010】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を図面に示す実施例を参照しつつ説明する。図1は、情報提供システム（以下、単にシステムともいう）1の構成を示すブロック図である。システム1は、インターネットなどの通信網702と、これに送受信手段としてのデータ回線終端装置（モデム701）を介して接続されたホスト装置700と、同じく送受信手段としてのデータ回線終端装置（モデム752（図2））を介して接続された複数のユーザー端末装置（単に、ユーザー端末ともいう）703とを含むものとして構成されている。なお、情報提供システム1は営業支援システムとしての機能も果たす。

【0011】ホスト装置700はコンピュータとして構成され、I/Oポート11を備え、これにCPU12、ROM13、RAM14、ハードディスクドライブ等で構成された固定記憶装置22、及びCD-ROMドライブ4等が接続されている（モニタやプリンタ等の出力装置、キーボードやマウス等の入力装置、カレンダークロック等が接続されていてもよい）。固定記憶装置22には、情報提供システム1の機能をコンピュータ上にて実現するためのアプリケーションプログラム（以下、単にアプリケーションともいう）24と、その作動環境をコンピュータ上に形成するオペレーティングシステムプログラム（OS）23と、情報提供のための各種処理に使用するデータベース25とが格納されている。

【0012】これらプログラム23、24とデータベース25とは、例えば、記録媒体としてのCD-ROMに記録された形で供給され、これをCD-ROMドライブ4にセットして、CPU12により所定のインストールプログラム（図示せず）を起動することにより、固定記憶装置22内にインストールされるようにできる。また、ホスト装置700と通信網702を介して接続される別のサーバからインストールプログラムが配信されるようにしてもよい。また、ROM13には、コンピュータのハードウェア制御のための基本的な各種プログラムが格納される。さらに、RAM14には、固定記憶装置22及びROM13に格納された各プログラムのワークエリアが形成されている。

【0013】また、各ユーザー端末装置703はそれぞれが、図2に示すように、I/Oポート751とそれに接続されたCPU754、ROM755、RAM756とを含むコンピュータとして構成され、入力手段としてのキーボード2、マウス3（他のポインティングデバイスでもよい）、出力手段としての図示しないプリンタ制御部を備えたプリンタ6及びモニタ制御部20がI/O

ポート751に接続されている。また、モニタ制御部20には表示画面を有する出力手段としてのモニタ21が接続されている。ユーザー端末装置703は例えばデスクトップ型のコンピュータとして構成してもよいが、電池等を電源部に使用するノートパソコンやラップトップパソコンあるいはパームトップコンピュータ（PDA）等を用いてもよい。さらに、ユーザー端末装置703は移動型情報端末として構成してもよく、この場合は、ユーザー端末装置703は通信網702の一部を構成する無線通信網として接続されることとなる。

【0014】そして、利用者による各処理に必要な情報（データ）入力（例えば、シミュレーション選択項目の選択、シミュレーション前提条件情報、評価参照情報等の入力等）を、通信網702を介して接続されたユーザー端末装置703側から行うこととなる。ユーザー端末装置703側の通信処理は、図2に示すRAM756の通信プログラムワークエリア756aを用いて、所定の通信プログラムにて実行される。そして、ユーザー端末装置703側でキーボード2ないしマウス3により入力された情報（情報）は、通信網702を経てホスト装置700に送られ、そこで、アプリケーションプログラム24による各種の処理が実行される。そして、その処理の結果（例えば、シミュレーション結果、評価結果情報等）を通信網702を経てアクセスのあったユーザー端末装置703に送信し、そこでそのユーザー端末装置703のプリンタ6ないしモニタ21に出力させる。なお、モニタ等からの視覚的情報とともに、音声出力装置にて種々の情報（シミュレーション結果、評価結果情報等）を出力してもよい（本実施例ではアンプ757を介してI/Oポート751に接続されるスピーカ758にて音声出力されるようになっている）。

【0015】具体的には、ユーザー端末装置703のモニタ21に、グラフィックユーザインターフェース（GUI）による操作・表示画面を形成するための端末側操作・表示プログラムが、ホスト装置700からユーザー端末装置703に送られ、ワークエリア756a、756b上にてそのプログラムが実行される。また、ユーザー端末装置703にはさらに、そのユーザー端末装置703の管理を行うオペレーティングシステム753a、端末側からホスト装置700にアクセスするためのブラウザ753c等を備えた固定記憶装置としてのハードディスクドライブ（以下、HDDともいう）753が設けられる。さらにHDD753には、ホスト装置700からダウンロードされる各種データを格納するデータベース753d、端末装置における情報提供に関する各種処理を行うアプリケーション753bを備えるようにしてもよい。また、ホスト装置700からのシミュレーション結果、評価結果等の情報はデータメモリ756に格納されるようにできる。

【0016】図1に戻り、ホスト装置700のアプリケ

ーション 24 は、OS 23 上において、システム各部を、又は当該システムと関連して機能する装置等を請求項に記載した以下の手段として実現させる役割を果たす。

シミュレーション選択項目表示制御手段：CPU 12

プログラムモジュール記憶手段：固定記憶装置 22

プログラムモジュール読出手段：CPU 12

シミュレーション実行手段：CPU 12

シミュレーション結果出力手段：CPU 12

評価情報生成手段：CPU 12

評価情報出力手段：CPU 12

表示装置：モニタ 21

ジャンル選択項目表示制御手段：CPU 12

グループ表示制御手段：CPU 12

記録媒体：固定記憶装置 22

コンサルタント側データ処理装置：コンサルタント側端末装置 705

発信元処理装置：金融商品情報発信元端末装置 707

経営主体側端末装置：コンサルタント側端末装置 705、金融商品情報発信元端末装置 707

営業者用情報送信手段：CPU 12

【0017】なお、表示制御手段（シミュレーション選択項目表示制御手段、ジャンル選択項目表示制御手段、グループ表示制御手段）として機能する CPU 12 は、ユーザー端末装置 703 に設けられたモニタ制御部 20 及び表示装置としてのモニタ 21 と関連して機能し、表示装置としてのモニタ 21 上において所定の表示情報が出力されるよう制御する機能を果たす。また、シミュレーション結果出力手段、及び評価情報出力手段は生成された情報をユーザー端末装置 703 に対し出力する（本実施例では、モニタ 21 上にて表示出力可能となるようにユーザー端末装置 703 に出力する）機能を果たすものであり、CPU 12 がこれを実現する。

【0018】表示制御手段（シミュレーション選択項目表示制御手段、ジャンル選択項目表示制御手段、グループ表示制御手段）はホスト装置 700 によって分担される構成が実現されているが、ユーザー端末装置 703 にて実現されるようにしてもよい。例えば、表示制御の対象となる表示情報をユーザー端末装置 703 にて生成し、それをそのまま表示装置（モニタ 21）に表示するよう表示制御してもよい。この場合には、表示制御手段は CPU 754 が役割を果たすこととなる。なお、ホスト装置 700 に上記表示制御手段、表示出力手段等を設け複数のユーザー端末装置 703 への情報出力の管理を集約的かつ合理的に行うようにすれば、ユーザー端末装置 703 には複雑なアプリケーションが必要とならない構成となる。例えば、インターネットを介した通信ネットワークの場合、ユーザー端末装置は汎用的なブラウザがあれば、これを用いてホスト装置 700 に容易にアクセスでき、情報提供サービスを受けることができる。

【0019】また、複数の情報の管理がホスト装置 700 側において集中的に行われるので、情報の更新管理等も容易であり、また、ユーザー端末装置 703 が火災や自然災害などにより打撃を受けてもホスト装置 700 の情報（データ）が無事であれば、システム使用環境を容易に復元することができる。

【0020】また、情報（アプリケーション 24、データベース 25）の一部又は全部をユーザー端末装置 703 側に設けられた端末装置側記憶装置（固定記憶装置（本実施例では、ハードディスクドライブ 753））

（図 2）に記憶させてこれをプログラムモジュール記憶手段、記録媒体として機能させてもよい。そして、ユーザー端末装置 703（の CPU 754）が表示制御手段（シミュレーション選択項目表示制御手段、ジャンル選択項目表示制御手段、グループ表示制御手段）、出力手段（結果出力手段、及び評価情報出力手段）、プログラムモジュール読出手段、シミュレーション実行手段、評価情報生成手段として機能するようにできる。このようにすると、シミュレーション処理が通信網を介さずに行われ、処理の高速化を達成できる。また、ユーザー端末装置 703 において後述する E コンサルが行われるようにしてもよい。

【0021】図 3（a）はアプリケーション 24 の構成の一例について概念的に説明している。アプリケーション 24 は、本装置の制御プログラムであるメインプログラム 24a と、ジャンル別のモジュール群（教育シミュレーションモジュール群 24b、住宅シミュレーションモジュール群 24c、老後シミュレーションモジュール群 24d、結婚シミュレーションモジュール群 24e、運用シミュレーションモジュール群 24f、相続・贈与シミュレーションモジュール群 24g）を有する。さらに、データベース 25 からの情報取得、或いはデータベース 25 への情報格納等を行うデータベース管理プログラム 24h が備えられる。

【0022】ジャンル別のモジュール群は、図 3（b）に示されるように、複数のシミュレーションプログラムモジュールを有して構成されており、図 3（b）においては、その一例として、住宅に関するシミュレーションを行う住宅シミュレーションモジュール群 24c の構成を示している。そして、各シミュレーションプログラムモジュールは、図 9 の表示画面 200 に表示されるシミュレーション選択項目 202 に対応した形でそれぞれ設けられている。なお、シミュレーション選択項目はそのシミュレーション選択項目を指定した場合に必要な金額を表示するようにできる（本発明では、シミュレーション選択項目 202 において、「100 円」の表示がなされ、シミュレーション選択項目を指定すると 100 円が課金されるようになっている。）。そして、表示画面 200 においていずれかのシミュレーション選択項目 202 が選択された場合、その選択項目 202 に対応す

るシミュレーションプログラムモジュールが当該シミュレーションプログラムモジュールを記憶するプログラムモジュール記憶手段（本実施例においてはHDD等の固定記憶装置22）より読み出される。なお、これら処理の詳細については後述する。

【0023】図4（a）のように、データベース25には、対象者に関する情報が蓄積される対象者データベース25aと、評価結果情報を生成するためのデータが蓄積される評価結果情報データベース25bと、経済イベントに関する商品又は役務（具体的には、例えば、金融商品又は金融商品に関する役務）を取扱う経営主体に関する経営主体データベース25cとが備えられている。そして、評価結果情報データベース25bは、図4

（b）に示されるように、各ジャンル毎に評価結果データベースを設けることができ、更に各ジャンルごとのデータベースはその下位階層において、シミュレーション選択項目ごとに評価結果情報を生成するためのデータベースが設けられる。図5（a）にはその一例を示しており、図5（a）においては住宅のジャンルにおけるシミュレーションにおいて用いる住宅評価結果データベース30bの構成例について示している。その住宅評価結果データベース30bには、シミュレーション選択項目に202にそれぞれ対応する形で各選択項目の評価結果データベースが備えられている。

【0024】さらに、選択項目に対応した評価結果データベースの構成は図5（b）に示されるように、複数のコメントセグメントを含んだ構成とできる。図5（b）には、住宅返済計画に関するシミュレーションにおいて用いられる住宅返済計画評価結果データベース31eについて示している。図に示すように、各選択項目の評価結果データベースにおいては、フレーズごとに対応して設けられるコメントセグメントをそのフレーズごと集合させたコメントセグメント群が備えられている。例えば、評価結果に応じて、集合ごとにいずれかのコメントセグメントを選び、その選択されたコメントセグメントを結合させた形でコメント情報を生成できる。なお、このようなコメント手法については、特開平11-96218に記述されている。

【0025】次に、図6ないし図8に示されるフローチャートを参照して、情報提供システム1における処理について説明する。なお、処理の概要は以下の通りである。即ち、図1のようなユーザー端末装置703と、そのユーザー端末装置703と通信網を介して接続されるホスト装置とを有する通信ネットワーク上において、ユーザー端末装置703に設けられた表示装置（モニタ21：図2参照）において、個人の消費生活にて発生する種々の経済イベントに関連した複数のシミュレーション選択項目を選択可能に表示する。そして、その表示装置上で、いずれかのシミュレーション選択項目（シミュレーション選択項目202：図9参照）が選択されること

に基づき、その選択されたシミュレーション選択項目に対応するシミュレーションプログラムモジュールがプログラムモジュール記憶手段（固定記憶装置22：図1）より読み出される。そして、表示装置において、選択されたシミュレーション選択項目に関係する、シミュレーション当事者の経済的数値パラメータを含むシミュレーション前提条件情報（図11参照：後述）が入力されることにより、これを用いて、選択されたプログラムモジュールにより経済シミュレーションを行い、その結果を出力する。さらに、そのシミュレーション結果の当事者への適合性を評価するための当該当事者固有の評価参照情報が入力されることにより、評価参照情報とシミュレーション結果とに基づいて選択項目に関連した評価結果情報を生成・出力する。なお、各処理の詳細については後述する。なお、本発明の経済シミュレーションとは、経済（消費経済等）に関するシミュレーションを意味し、詳細例については後述する。

【0026】まず、アプリケーションの実行に伴い、図9に示される初期画面が表示装置における表示画面200上に表示される（S110）。この初期画面構成は、個人の消費生活にて発生する種々の経済イベントに関連した複数のシミュレーション選択項目202が選択可能に表示される構成となっている。さらに、シミュレーション選択項目202は、複数のジャンルに分類されており、そのジャンルごとシミュレーション選択項目グループ（図9では教育ジャンル選択項目グループ204a、住宅ジャンル選択項目グループ204b）として一覧表示される。

【0027】なお、本実施例においては、図9に示されるように、複数のジャンルに関連した選択項目（以下、ジャンル選択項目ともいう）を表示装置においてジャンル表示部220として選択可能に表示する。そして、ジャンル選択項目表示制御手段としてのCPU12により、表示装置における表示画面200において、いずれかのジャンル選択項目（220a～220f）が選択されることに基づき、その選択されたジャンル選択項目に対応するシミュレーション選択項目グループをグループ表示制御手段により表示する。図9においては、住宅ジャンル選択項目220bが選択された場合を示しており、住宅ジャンル選択項目グループ204bとしてシミュレーション選択項目202が一覧表示されている。なお、ジャンルとして、教育、住宅、老後、結婚、資産運用、相続・贈与に関するものを有してなる。

【0028】そして、被情報提供者となる対象者が端末装置に設けられた入力装置により、シミュレーション選択項目又は、各シミュレーション選択項目に対応して設けられるサンプル選択項目203（又は、サンプル項目203ともいう）を選択する（S140）。その選択において、いずれかのシミュレーション選択項目202を選択した場合（S150：YES）には、上述したよう

に、そのシミュレーション選択項目 202 に対応したシミュレーションプログラムモジュールがプログラムモジュール記憶手段となる固定記憶装置 22 より読み出され、その選択された項目に係るコンサルティング処理が行われる (S160)。また、S140 における項目選択において、サンプル項目が選択された場合には、S150 において NO に進むとともに S170 において YES に進み、シミュレーションのサンプル情報 220 を表示する (S180)。シミュレーションのサンプル情報は、例えば、図 10 のように構成できる。なお、図 10 では住宅返済計画サンプル項目 203a が選択された場合を示しており、サンプル情報では、コンサルティング処理における一表示画面と同一又は略同一の画面構成となっており、このサンプル情報により被情報提供者に対しシミュレーションの具体例を提供することで、被情報提供者がシミュレーション内容について十分理解できるようになっている。これにより、被情報提供者は内容について納得した上でシミュレーション情報の提供を受けることができ、不透明感の無い、健全性の極めて高いシステムとなる。

【0029】そして、S180 にて表示されたサンプル情報 220 (図 10) には、前画面に戻るための前画面表示項目 215 (「戻る」ボタン) を設けることができ、その前画面表示項目 215 が選択された場合には S190 において YES に進み、再び図 9 の初期画面が表示される。

【0030】次に、図 6 の S160 におけるコンサルティング処理について図 7 のフローチャートを参照しつつ説明する。図 9 において、いずれかのシミュレーション選択項目 202 が選択された場合には、上述のごとく、その選択されたシミュレーション選択項目 202 に対応したシミュレーションプログラムモジュール (図 11 の例では、住宅返済計画モジュール 29e) が読み出され、その読み出されたシミュレーションプログラムモジュールに基づいた初期画面が表示される (S210)。なお、本実施例では、シミュレーション選択項目として、図 9 の住宅返済計画選択項目 202a が選択された場合について主として説明している。そして、その初期画面において選択されたシミュレーション選択項目に関係する、シミュレーション当事者の経済的数値パラメータを含むシミュレーション前提条件情報 (以下、単に前提条件情報ともいう) を入力し (S220)、さらにシミュレーション結果の前記当事者への適合性を評価するための当該当事者固有の評価参照情報 (S230) を入力することとなる。

【0031】具体的には図 11 のごとく、評価参照情報を入力するための評価参照情報入力部 232 (本実施例では、給与収入入力部) が設けられ、さらに前提条件情報を入力するために複数の前提条件情報入力部 (ローン名称入力部 233、返済方式入力部 235、実行日入力

部 234、毎月返済分入力部 236、賞与返済分入力部 237、返済期間入力部 238、返済プラン入力部 239、年利入力部 240 等) が設けられる。なお、評価参照情報、前提条件情報を構成するパラメータは、シミュレーション選択項目ごとに個別に設定でき、上記例に限定されないことは言うまでもない。

【0032】そして、シミュレーション前提条件情報及び評価参照情報が入力された後、所定の操作 (本実施例では、シミュレーション処理の実行開始ボタン 219 を選択) を行うことにより、シミュレーション処理が実行される (S240)。なお、図 11 の例では、上記前提条件情報に基づいて、シミュレーション情報入力・出力部 222 において借入総額、第一回支払日、賞与分支払月、毎月返済額、賞与返済額、年間返済額計がそれぞれシミュレーションプログラムモジュールに従って、シミュレーション結果として演算・出力される (S250)。シミュレーション処理においては、前提条件情報に基づいて、その前提条件情報の数値の加工を行い、当事者が望む数値情報に変換して出力している。例えば、ローン (住宅、土地、教育、自動車、その他種々のローン) に関する場合には、上記したように、シミュレーション前提条件情報としての、毎月返済分、賞与返済分、返済期間に少なくとも基づいて、毎月返済額、賞与返済額、年間返済額計を出力するようにできる。これにより、借入に対する返済を計画し易く、経済活動の指標とできる。なお、経済的数値パラメータとは、上記の毎月返済分、賞与返済分、返済期間等のように、経済 (消費経済) に関する数値パラメータを意味する。

【0033】なお、図 11 の経済イベントは住宅返済計画、即ち住宅をローン等により購入した場合についてのマネープランを対象としているが、他の経済イベントにおいても同様の構成とできる。例えば、教育ローン (図 9 参照) に関するシミュレーション選択項目を選択した場合でも上記と同様に評価参照情報として給与収入を入力するようにでき、毎月返済分、賞与返済分、返済期間等をシミュレーション前提条件情報とできる。また、ローンに限らず、一定金額の金銭を得るためのマネープラン、例えば投資信託等の運用により、所定期間において所定金額を得るためのマネープラン、或いは、老後を自己財産、年金、その他収入により快適に過ごすためのマネープラン、結婚のためのマネープラン (例えば、所定の日を結婚日に設定した場合のマネープラン等) 等種々のマネープランに関するコンテンツを集約させることができる。

【0034】なお、図 11 の表示画面に示されるように、選択されたシミュレーション選択項目と対応するように、説明情報選択部としての E セミナーボタン 217 を設け、その E セミナーボタンが選択されることにより、そのシミュレーション選択項目に関する疑似セミナー情報 (例えば動画、静止画、音声等による選択されて

いるシミュレーションに関する教育的説明情報)が出力されるようにしてもよい。また、音声出力選択項目としての音声出力ボタン217を設け、それが選択されることにより、表示画面上の情報を音声にてナレーションするようにしてもよい。なお、音声による出力は当該シミュレーション選択項目における一般的傾向(例えば、経済活動を良好に行うためのセオリー等)をナレーションしてもよく、シミュレーション結果、又は評価結果をナレーションしてもよい。また、評価結果をナレーションする場合は、図12のコメント情報をナレーションしてもよく、そのコメント情報の概要のみをナレーションしてもよい。このように音声出力によれば、被情報提供者となる当事者が提供される情報を容易に理解できることとなる。

【0035】そして、コンサルティングの方法を、当該アプリケーションに設けられた論理式に基づく電子データ処理によるコンサルティング(以下、Eコンサルともいう)とするか、又は、ユーザーに対するシミュレーション結果を参照しつつコンサルティングメッセージ生成するコンサルタント側データ処理装置によるコンサルティング(以下、リアルコンサルともいう)とするかを選択する(即ち、コンサルティングモードを選択する)。リアルコンサルが選択された場合にはS270においてYESに進み、リアルコンサル処理を実行する(S275)。Eコンサルが選択された場合にはS280においてYESに進みEコンサル処理を実行する(S285)。また、金融商品情報を扱う金融商品取扱機関に対し照会する場合には、S290においてYESに進み商品提供機関照会処理を行う。以下において、それら処理について説明する。

【0036】Eコンサル処理の概要は以下のごとくである。即ち、評価結果情報が、複数の評価フェーズに分割されたコメント情報を有し、それら評価フェーズの少なくとも一つを構成するコメント情報が複数のコメントセグメントの集合として記述されてなる。そして、評価フェーズに対応して用意された複数のコメントセグメント群より、評価結果に応じて必要なものを選択し、これを結合することにより各評価フェーズのコメント情報を生成する。具体的には、複数の評価フェーズは、評価結果情報のイントロダクション部分を構成するイントロダクションフェーズと、選択されたシミュレーション選択項目において、前記シミュレーション結果から導かれる前記当事者固有の問題を提起する問題提起フェーズと、その提起された問題を解決するための具体的方法をアドバイスするための解決アドバイスフェーズと、を含んだ構成とできる。このように、問題提起と、それに対する解決アドバイスが生成されるようになっていたため、当事者は自身の経済を改善するための指針等の効果的情報を容易に得ることができる。

【0037】Eコンサル処理の流れについて、図8のフ

ローチャートを参照して説明する。Eコンサル処理は、図11の表示画面においてEコンサル実行ボタン212を選択することにより実行開始される。その開始後において、前述した前提条件情報及び、評価参照情報をこれら情報が記憶される記憶手段(例えば、RAM14)から読み出す(S310、S320)なお、Eコンサル選択部としてのEコンサル実行ボタン212と対応するようにその近傍においてEコンサルの内容を簡潔に説明する説明表示部211が備えられる。Eコンサルの結果は、図12のように表示することができる。図12においては、評価結果情報表示部242においてコメント情報が複数のフェーズに分けた形で記述されており、そのコメント情報は、イントロダクションフェーズ242a、問題提起フェーズ242b、解決アドバイスフェーズ242cをそれぞれ有し、これらが結合して当事者に対する適切なコメントを提供している。

【0038】なお、これらコメント情報を構成するためのコメントセグメントは、図5(b)に示されるように、評価フェーズに対応した形で、各評価フェーズごとコメントセグメント群が備えられる。例えば、セグメント群Aはイントロダクションフェーズに対応し、Bは問題提起フェーズ、Cは解決アドバイスフェーズに対応するといったようにできる。そして、評価結果に応じて、各セグメント群よりそれぞれ適切なコメントセグメントを選択し(S330)、それらを結合させた形で評価結果情報を表示する(S340)。なお、コメントセグメントは必ずしも1とは限らず、2以上でもよく、また選択されないコメントセグメント群があってもよい。また、イントロダクションフェーズにおいては、選択されたシミュレーション選択項目における一般的説明情報を表示するようにしてもよい。例えば、その選択項目におけるマネープランニングのセオリー、又は或いはその選択項目における陥りやすい問題点等、入力されたシミュレーション前提条件情報、評価参照情報のいずれにも基づかない情報を表示することができる。

【0039】また、問題提起フェーズにおいては、シミュレーション前提条件情報及び評価参照情報に基づいた当該当事者固有の固有数値データを含んだ構成とできる。そして、その選択項目における所定の基準データと、固有数値データとを比較したコメント情報とすることができる。なお、図12においては、基準データとして、給与収入に対する年間返済額の割合の限界値を基準データ243a(25%)とし、その基準データのデータ種別における当事者固有の数値を当事者固有数値データ243b(26.44%)としている。そして、問題提起フェーズは当事者の経済状態が悪化することを示唆する(又は促す)情報を含んで構成される。そして、解決アドバイスフェーズ242cにおいては、当事者の経済状態を良好にするためのアドバイス情報を含んで構成できる。なお、アドバイス情報はシミュレーション前提

条件情報及び／又は評価参照情報の改善、を示唆する情報（前提条件情報及び／又は評価参照情報を維持すること示唆する（又は指示する）情報をも含む）とすることができる。また、解決アドバイスフェーズ 242c においては、評価参照情報に基づいたシミュレーション前提条件情報における数値パラメータの変更を示唆する

（又は指示する）情報を表示できる。なお、図 12 においては、シミュレーション前提条件情報における数値パラメータ変更のための、評価参照情報に基づいた指標数値データ 243c が当該評価参照情報に備えられている。

【0040】次に、リアルコンサル処理について説明する。当該リアルコンサル処理の前提として、通信ネットワークを介してユーザー端末装置 703 とコンサルタントが操作するコンサルタント側データ処理装置（本実施例においては、コンサルタント側端末装置 705（単に、コンサルタント側端末 705 ともいう）：図 1 参照）とが接続される。そして、ユーザー端末装置 703 からの要求により、そのユーザーに対するシミュレーション結果を参照しつつコンサルティングメッセージをコンサルタント側データ処理装置としてのコンサルタント側端末装置 705 にて作成し、これを通信網 702 を介してユーザー端末装置 703 へ送信するようにできる。なお、コンサルタント側データ処理装置の例としてコンサルタント側端末装置 705 を挙げたが、これに限定されず、ホスト装置がコンサルタント側データ処理装置として機能してもよい。

【0041】リアルコンサル処理は、図 11 等に示される表示画面において、リアルコンサル選択部としてのリアルコンサル実行ボタン 210 が選択されることにより開始される。リアルコンサル処理においては、上述したようにシミュレーション結果をコンサルタント側データ処理装置としてのコンサルタント側端末装置 705 に送信し、そのコンサルタント側端末装置 705 にてそのシミュレーション結果に基づくコンサルティングメッセージを生成し（コンピュータによる自動生成（例えば、上記した E コンサルと同様の手法等）、又はオペレータによる入力による生成等）、これを例えば電子メール等により送信する。なお、電子メールに限らず、電話、FAX 等の情報通信手段を用いてもよい。

【0042】また、商品提供機関照会処理は以下のようにできる。その概要は、通信ネットワークを介して、ユーザー端末 703 とシミュレーション結果に応じて推奨される金融商品情報を発信する発信元処理装置（本実施例においては、金融商品発信元端末装置 707（単に、金融商品発信元端末 707 ともいう））とを接続する。なお、本発明にいう金融商品とは金融に関する商品、又は役務の両方を包含する。そして、金融商品情報を例示すれば、ローン（住宅、不動産、教育、目的別、その他種々のローン）、証券、株式、不動産、等の商品又はそ

れらに関する役務が挙げられる。そして、シミュレーション前提条件情報又はシミュレーション結果の少なくともいずれかを用いて発信元処理装置としての金融商品発信元端末装置 707 において蓄積されている金融商品情報から推奨されるものを選択し、その選択された金融商品情報を通信網 702 を介してユーザー端末装置 703 へ送信するようにできる。

【0043】また、発信元処理装置において、シミュレーション前提条件情報及び／又はシミュレーション結果と対応付けた形にて金融商品を定めて、金融商品情報記憶手段（発信元処理装置における記憶装置（ハードディスクドライブ等））に記憶しておくようにもできる。そして、発信元処理装置に設けられた金融商品情報を抽出する金融商品情報抽出手段（発信元処理装置における CPU を主体とした手段）が、その金融商品情報記憶手段からユーザー端末装置より送信されるシミュレーション前提条件情報及び／又はシミュレーション結果情報に対応する金融商品情報を抽出し、これをその送信元のユーザー端末装置へ出力するようにしてもよい。なお、シミュレーション前提条件情報及び／又はシミュレーション結果と金融商品との対応付けについては、様々な方法を用いることができるが、例えば、複数の数値パラメータに基づいて金融商品を定める方法等が挙げられる。一例としては、シミュレーション選択項目、給与収入に基づいて、金融商品を定めるといったことが可能となる。具体的には例えば、あるシミュレーション選択項目において、給与収入を段階的に設定してそれら段階ごとに異なるローンを設けておき、シミュレーション前提条件情報において入力された給与収入に応じた段階のローンを選択するといったやり方が可能である。なお、これはほんの一例に過ぎず、様々な数値パラメータに基づいて金融商品を定めるようにできる。なお、定められる金融商品は 1 つとは限らず、2 以上でもよい。また、複数のパラメータに基づいて金融商品を定めるような形式にしてもよい。また、ここに挙げた例は、ユーザー端末装置から送信されたシミュレーション前提条件情報及び／又はシミュレーション結果情報に基づいて、発信元処理装置において自動的に金融商品が定められる例について示しているが、これに限らず、発信元処理装置においてオペレータ等が推奨される金融商品を選び、人手により金融商品に関する情報を入力してもよい。なお、発信元処理装置として金融商品発信元端末装置 707 を例にとったが、これに限定されず、例えば、ホスト装置 700 においてその機能（例えば、金融商品情報抽出手段、金融商品情報記憶手段等の機能）を付加してもよい。

【0044】図 13 には、商品提供機関からの応答例について示している。図 11 又は図 12 の表示画面において商品提供機関選択項目としての商品提供機関ボタン 214 が選択された場合には、シミュレーション結果及び／又はシミュレーション前提条件情報を、選択されてい

るシミュレーション選択項目と予め対応付けられる商品提供機関に対し送信する。なお、商品提供機関ボタン 214 の近傍にはこれと対応するように、その項目（商品提供処理）について簡潔に説明する説明部 213 が設けられる。

【0045】図 16 には商品提供機関照会処理について概念的に説明する説明図を示す。図 16 に示されるように、ホスト装置 700 にて生成、送信された情報はシミュレーション選択項目が特定されるシミュレーションコンテンツ情報と、シミュレーション前提条件情報を有した形で発信元処理装置に送信される。発信元処理装置としての金融商品発信元端末装置 707 はユーザー端末装置 703 と同様のコンピュータ構成とでき、ユーザーからの情報（シミュレーション結果、シミュレーション前提条件情報）を受けて、金融商品情報を抽出する金融商品情報抽出手段としての CPU により、金融商品情報を記憶する金融商品情報記憶手段として当該発信元処理装置に設けられた固定記憶装置（ハードディスクドライブ）からシミュレーション結果に応じて推奨される金融商品情報を抽出し（例えば、企業 A における金融商品発信元端末装置 707 では推奨される商品としてローン R が選択されており、企業 B ではローン X が選択されている）、これをユーザー端末装置へ送信するようにできる。具体的には、例えば、ローン X、ローン R の詳細に関する情報をユーザー端末装置 703 に送信する。

【0046】なお、予め対応付けられるとは、例えば、実施例の住宅返済計画項目においては、住菱銀行、十五銀行、いなほ銀行、イギリス銀行、山川銀行、〇×銀行、その他多数の金融機関が図 4 の経営主体データベース 25c において登録されており、その登録されている機関に対し（具体的には、その登録されている機関側に設けられた金融商品発信元端末装置 707 に対し）図 11 のシミュレーション結果を送信するようにできる。また、送信する情報は、シミュレーション前提条件情報（本実施例においては複数の数値パラメータ）、評価参照情報（本実施例においては給与収入情報）等でもよい。

【0047】そして、そのユーザーからの情報を受けて、金融商品情報を発信する発信元処理装置によりそのシミュレーション結果に対する応答情報が生成されたことに基づき、その応答情報をユーザー側端末装置 703 にて出力する。また、金融商品情報が複数の発信元処理装置において生成された場合、それら複数の金融商品情報を集合させた返答集合情報をホスト装置における返答集合情報生成手段（CPU 12 が主として機能）により生成し、かつその生成された返答集合情報を送信手段にてユーザー端末装置に送信する。そして、その送信されたユーザー側端末装置の表示手段においてその返答集合情報に係る複数の金融商品情報が一覧表示される。また、返答集合情報は、図柄、文字等のシンボルマークを

表示するシンボル表示部（図 13 の実施例においては、カバンボタン 252）が各経営主体に対応してそれぞれ備えられ、顧客側端末装置に設けられた表示画面上にていずれかのシンボル表示部（カバンボタン 252）が選択されることにより、図 14 のごとくその選択されたシンボル表示部に係る返答情報の詳細内容が表示画面上にて表示される。なお、シンボル表示部は、営業行為を想起させる図柄又は文字を含むようにすることが望ましく、カバン（営業カバン）に限定されるというわけではない。

【0048】出力形態は、図 13 のように、複数の応答情報をユーザー側端末装置 703 の表示画面 200 における応答情報表示部 251 にて比較可能に一覧表示できる。なお、応答情報は、ユーザーにとって有利な条件を提示した順番となるようにできる。具体的には、応答情報は商品又は役務において、その商品又は役務の価値に関係する複数の条件種別が設定されており、いずれかの条件種別に基づいてランク付けするようにできる。例えば、図 13 の例では、条件種別は訪問日となっており、ユーザーに対する訪問日の速い順に表示されている。なお、これを借入枠順、借入期間順等としてもよい。又は、単一の条件種別とせずに、複数の条件種別の総合的判断に基づいてランク付けしてもよい。

【0049】そして、商品提供機関選択項目としてのカバンボタン 252 を選択することにより、商品提供機関としてのいずれかの経営主体が選択され、図 14 のように、その選択された商品提供機関における当該ユーザーに対する提供条件に関する情報が表示される。なお、図 14 においては、商品又は役務に関する詳細情報を表示するための商品詳細情報表示用選択部としての融資詳細ご案内ボタン 262 が設けられており、これを選択することにより図 15 のように、商品提供機関が提供を予定している金融商品の詳細情報が金融商品詳細情報表示部 270 にて表示される。図 15 の例では、金融商品詳細情報は当該金融商品（例えばローン）の、利用目的、利用対象、利用限度額等に関する情報を有している。

【0050】本発明によれば、当事者の経済活動に対するシミュレーションを行い、かつそれに対するコンサルタントを安価にかつ容易に提供できるため、当事者のマネープラン設計において極めて有用となる。特に、経済イベントに関する多種のマネープランを網羅されているため、マネープランのライブラリ的機能を有するとともに、いずれかのイベントを選択した場合には、シミュレーション、コンサルタント、金融商品の提供までが一連の流れにおいてなされるため、当事者は経済活動に関する問題、その解決方法、経済活動を良好にするための金融商品設定等、十分理解した上で、納得のいくマネープランを設定できる。

【0051】なお、上記システムにおいて、各処理が発生することにより課金処理が生じるようにできる。例え

ば、図9のシミュレーション選択項目202（100円ボタン）が選択されることにより（又は、リアルコンサル処理、商品提供機関照会処理が発生することにより課金処理が生じるようにしてもよい）、電子マネー決済、通話料に上乗せ、クレジットカードによる決済、通信会社の課金装置等、公知の決済方法による決済処理が生じるようにできる。

【0052】また、以下のような方法を用いてもよい。上記と同様に（例えば、図9のように）、ユーザー端末装置に設けられた表示装置において、個人の消費生活にて発生する種々の経済イベントに関連した複数のシミュレーション選択項目が選択可能に表示されるようにしてその複数のシミュレーション選択項目に関する情報を前記ホスト装置における出力手段にて前記ユーザー端末装置に向けて出力する。そして、その表示装置上で、ユーザーによりいずれかの前記シミュレーション選択項目が選択され、かつそのユーザーの氏名、住所、電話番号等の顧客基礎情報が入力されることに基づいて、そのシミュレーション選択項目と顧客基礎情報とをホスト装置により（具体的には、ホスト装置の出力手段により）営業

者固有の携帯移動端末（以下、営業者固有携帯移動端末ともいう）に向けて、又はその営業者固有のデータ取得先の記憶手段にて記憶可能となるよう該データ取得先記憶手段に向けて出力する。なお、顧客基礎情報についての入力用の表示画面については図示を省略しているが、氏名、住所、電話番号等の入力項目を備えた表示画面を構成すればよい。

【0053】例えば、メールにて送信し、その営業者の固有携帯移動端末において顧客名、住所、電話番号、シミュレーション選択項目がその送信されたメールにて表示されるようにすればよい。このようにすると、営業者は顧客からの潜在ニーズをキャッチでき、営業効率を高めることができる。なお、図19には、このような情報送信について概念的に示している。なお、図19に示されるように、営業者に向けて送信される情報は、商品販売、役務提供を希望する項目（図19ではシミュレーション選択項目）と顧客基礎情報のみでもよいが、これに他の情報を加えても良い。例えば、図19に示されるように、シミュレーション前提条件情報、評価参照情報、シミュレーション結果の少なくともいずれかを営業者

に向けて（営業者の携帯電話に向けて）送信すれば、営業者は顧客に関する詳細情報を取得できることとなり、営業が一層効率的となる。また、送信する情報は、図19のように一旦経営主体側の端末装置（金融商品発信元端末装置707、コンサルタント側端末装置705等）を介した後に営業者に送信するようにしてもよく、介さずに直接営業者に送信するようにしてもよい。

【0054】具体的には以下のようにできる。即ち、図

11のシミュレーション結果において商品提供機関ボタン214が選択されることにより各商品提供機関からの金融商品情報が図13のような一覧情報として送信されるようになっているが、いずれかの金融商品情報と対応付けられた形にて営業者送信用選択部が設けられるようになっている。具体的には、いずれかの商品提供機関を選ぶことにより図14のような詳細情報が表示されるようになっており、該詳細情報において「話がしたい」ボタン218が設けられている。

【0055】そして、その「話がしたい」218ボタンを選択することにより、少なくとも顧客基礎情報（シミュレーション当事者たる顧客（ユーザー）の名称、住所、連絡先情報）と、シミュレーション結果に係るシミュレーション選択項目に関する情報が、そのシミュレーション選択項目と対応付けられる経営主体に所属する営業者固有の営業者携帯移動端末（具体的には営業者の携帯電話）に送信される。又は営業者固有のデータ取得先記憶手段に対してそれら情報を送信するようにし、営業者が携帯移動端末を用いてそのデータ取得先記憶手段よりそれら情報を取得するといった方法を用いてもよい。なお、営業者送信用選択部（「話が聞きたい」ボタン267）は、金融商品情報をユーザー端末装置に送信した各々の経営主体においてそれぞれ設けられているが、シミュレーション選択項目と対応して設けられてさえいれば上記態様に限定されない。

【0056】例えば、図13のような応答情報表示部251と対応した形で営業者送信用選択部（「話が聞きたい」ボタン）を設け、応答があった全ての経営主体の営業者に対し、顧客（ユーザー）の情報（顧客基礎情報、シミュレーション選択項目に関する情報）を送信するようにしてもよい。また、図11及び図12のような表示画面において、営業者送信用選択部を設けるようにしてもよい。また、図10のようなサンプル画面と対応させた状態にて営業者送信用選択部を設け、経済シミュレーションを行わずに顧客基礎情報、シミュレーション選択項目の情報を営業者に送信するようにしてもよい。

【0057】なおこのような情報配信を可能とするために、図18（a）のように、シミュレーション選択項目に関する情報と金融商品を提供する経営主体（商品提供機関ともいう）の連絡先情報とを対応付けてホスト装置に記憶しておくようにできる。このようにすれば、シミュレーション選択項目が特定されれば、そのシミュレーション選択項目に関連する金融商品の販売、役務の提供を行う経営主体の連絡先が特定されることとなる。そして、ユーザー端末装置においていずれかのシミュレーション選択項目が選択されることに基づいて、その選択されたシミュレーション選択項目と対応付けられる経営主

体の連絡先情報に基づいて、該経営主体側に設けられた端末装置を介する形で携帯移動端末に向けて顧客基礎情報を送信するか、又は経営主体側端末装置を介さずに経営主体の連絡先情報に基づいてその経営主体に関する営業者の携帯移動端末に向けて顧客基礎情報を送信するようにできる。なお、連絡先情報は例えば、図18(b)のように営業者の携帯電話番号及び／又は経営主体（商品提供機関）のメールアドレスを備えた構成とすることができる。このようにすれば、生成された情報を直接営業者に送ることもできるし、一旦経営主体（商品提供機関）側に送信してから営業者に送信するといったことも可能である。なお、データ構成については種々の構成を用いることができ、上記構成に限定されないことは言うまでもない。

【0058】なお、コンピュータ読取可能な記録媒体は、コンピュータにより読み取ることが可能な状態でコンピュータ用プログラムが格納された記録媒体を意味するが、記録媒体を離れて、コンピュータにより利用可能なコンピュータ用プログラムそのものとして、本発明を把握することもできる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の情報提供システムの電気的構成の一例を示すブロック図。

【図2】その端末装置の電気的構成の一例を示すブロック図。

【図3】アプリケーション及びモジュール群の構成例を示す説明図。

【図4】データベースの構成例を示す説明図。

【図5】図4に続く説明図。

【図6】本発明の情報提供システムの処理例を示すフローチャート。

【図7】コンサルティング処理の一例を示すフローチャート。

【図8】Eコンサル処理の一例を示すフローチャート。

【図9】表示画面の構成例を示す説明図。

【図10】サンプル情報例を示す説明図。

【図11】シミュレーション処理に用いる画面構成例を示す説明図。

【図12】評価結果情報例を示す説明図。

【図13】商品提供機関からの応答例を示す説明図。

【図14】応答内容の詳細に関する表示例を示す説明図。

【図15】金融商品情報についての一例を示す説明図。

【図16】商品提供機関照会処理について説明する説明図。

【図17】営業者に対する情報送信について説明する説明図。

【図18】データ構成の一例について示す説明図。

【図19】図17の具体例について説明する説明図。

【符号の説明】

1 情報提供システム

12 CPU

21 モニタ

22 固定記憶装置

200 表示画面

700 ホスト装置

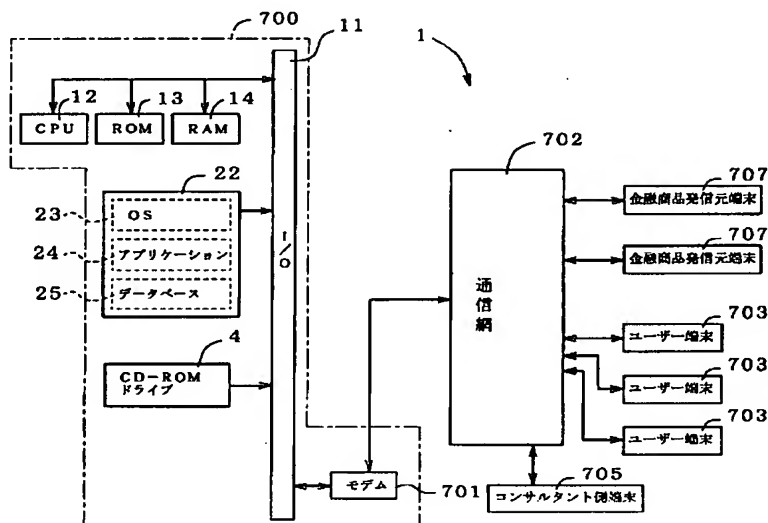
702 通信網

703 ユーザー端末装置

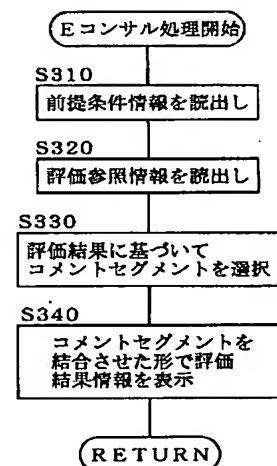
705 コンサルタント側端末装置（コンサルタント側データ処理装置、経営主体側端末装置）

707 金融商品発信元端末装置（発信元処理装置、経営主体側端末装置）

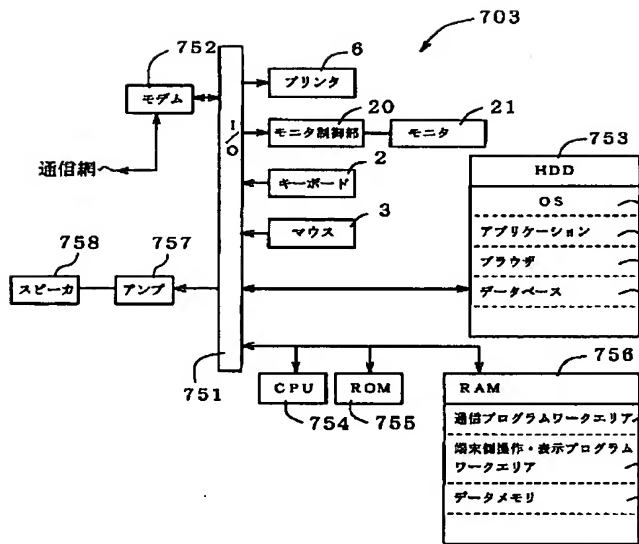
【図1】



【図8】

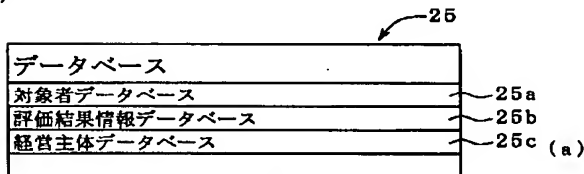


【図2】

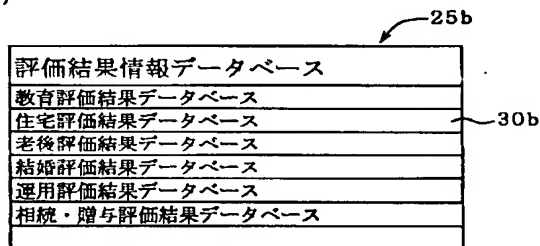


【図4】

(a)

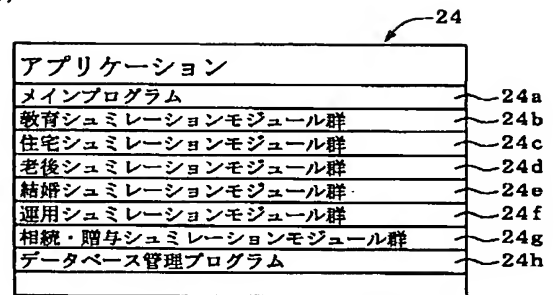


(b)

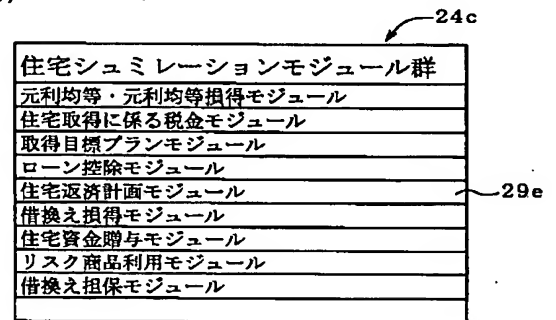


【図3】

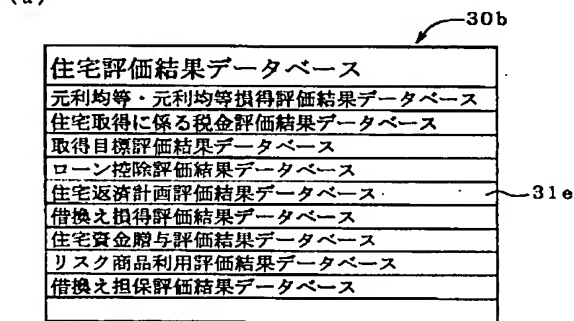
(a)



(b)



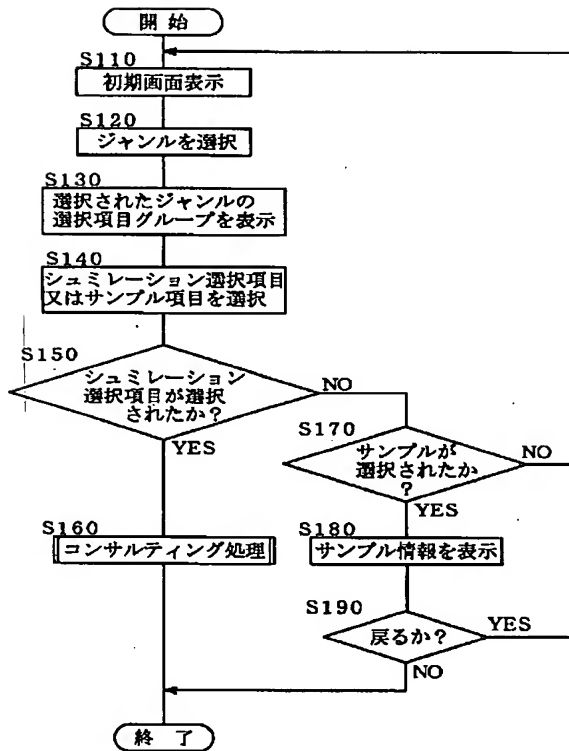
【図5】



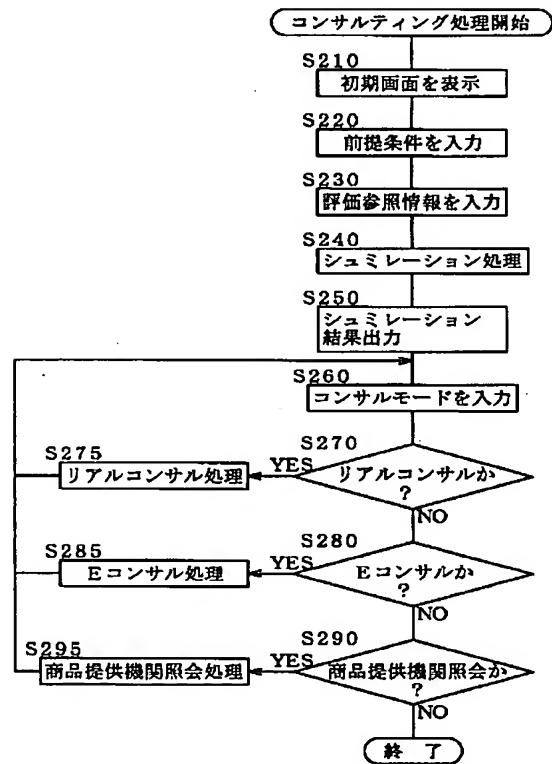
(b)

セグメント群A	コメント セグメント A 1	コメント セグメント A 2	コメント セグメント A 3	...
セグメント群B	コメント セグメント A 1	コメント セグメント A 2	コメント セグメント A 3	...
セグメント群C	コメント セグメント A 1	コメント セグメント A 2	コメント セグメント A 3	...
⋮	⋮	⋮	⋮	

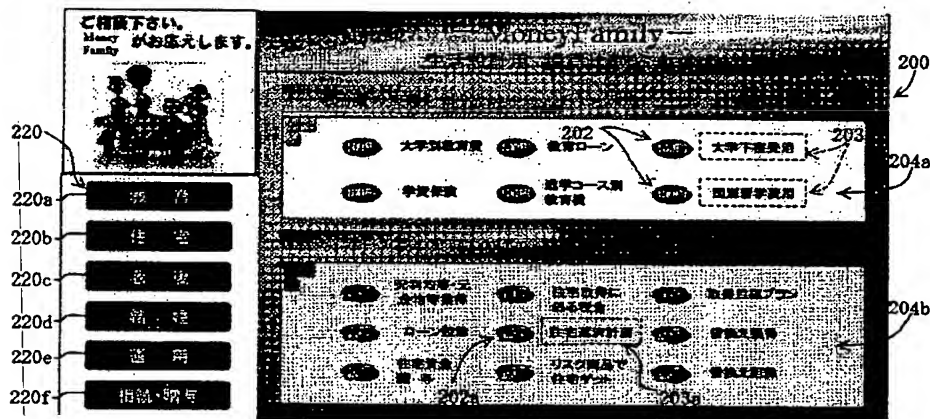
【図 6】



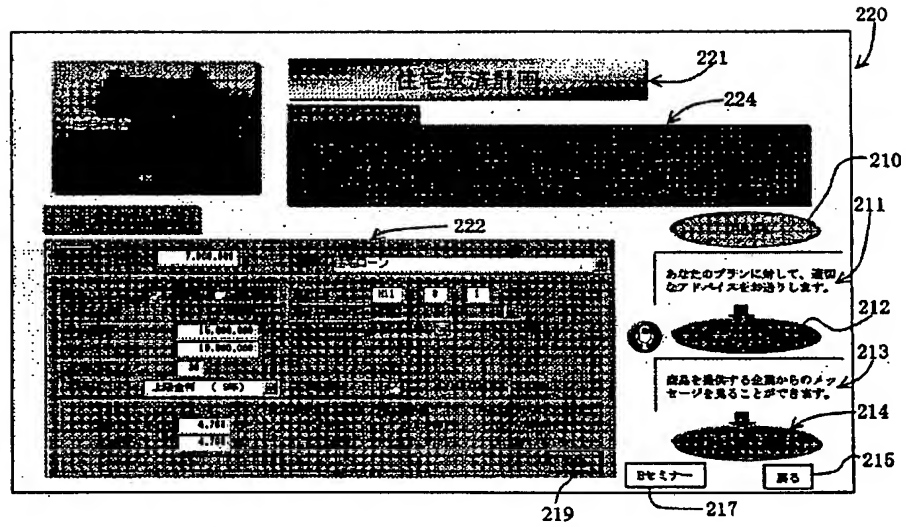
【図 7】



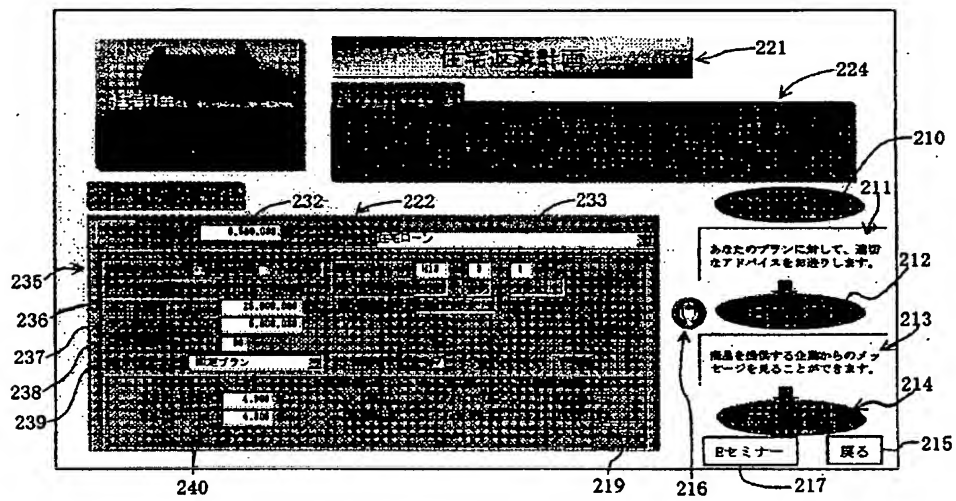
【図 9】



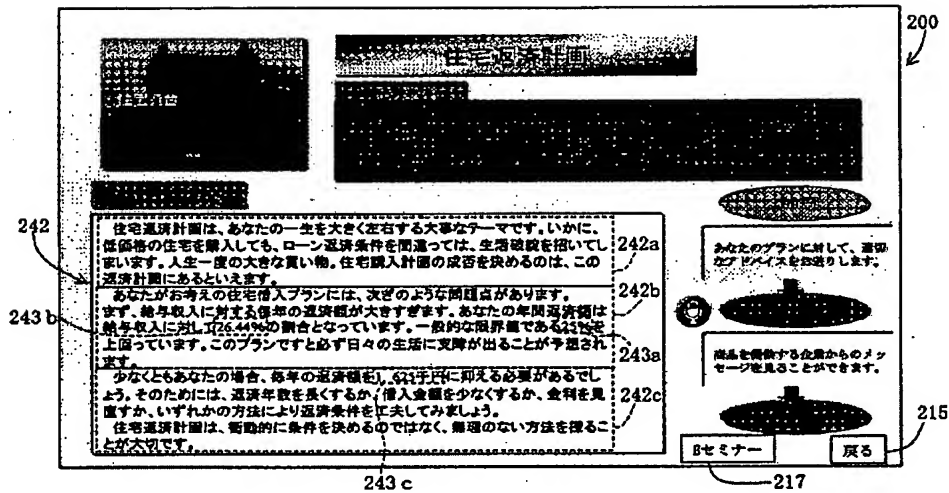
【図 10】



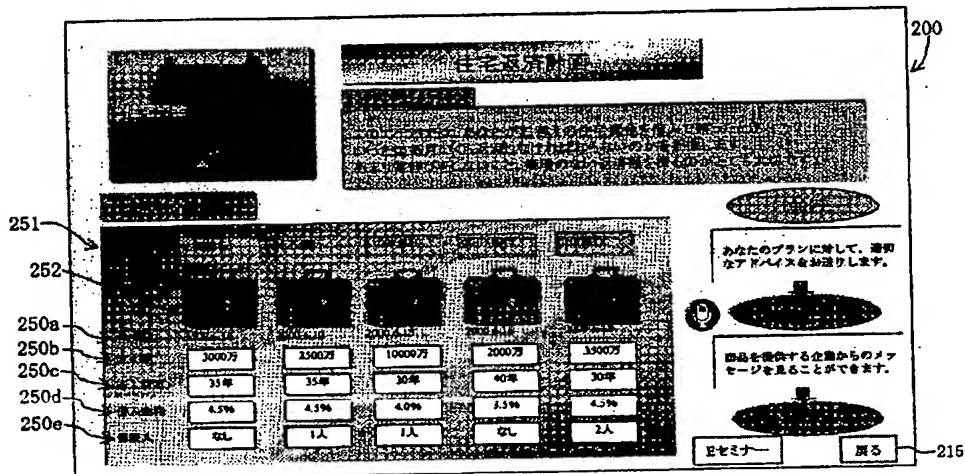
【図 11】



【図12】



【図13】



【図18】

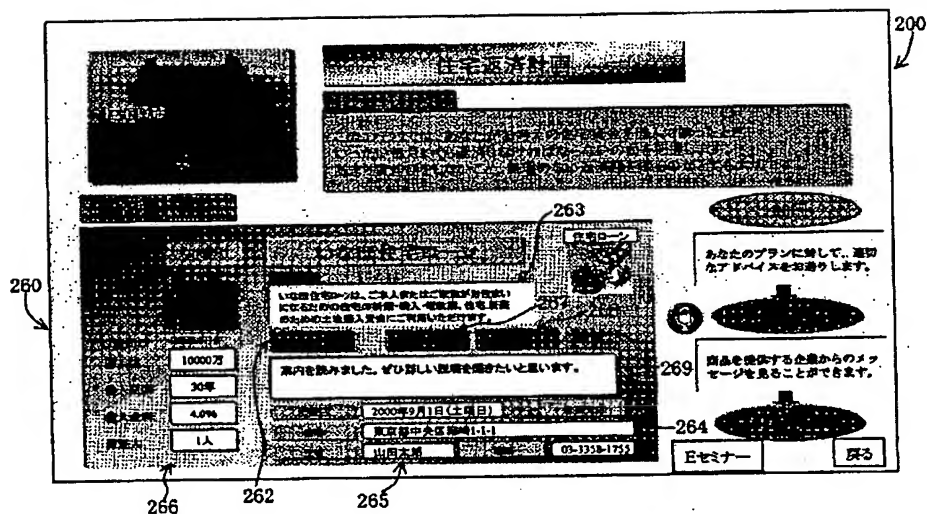
(a)

商品提供機関名 1	シミュレーション選択項目 1	商品提供機関連絡先情報 1
商品提供機関名 2	シミュレーション選択項目 2	商品提供機関連絡先情報 2
商品提供機関名 3	シミュレーション選択項目 3	商品提供機関連絡先情報 3
⋮	⋮	⋮	

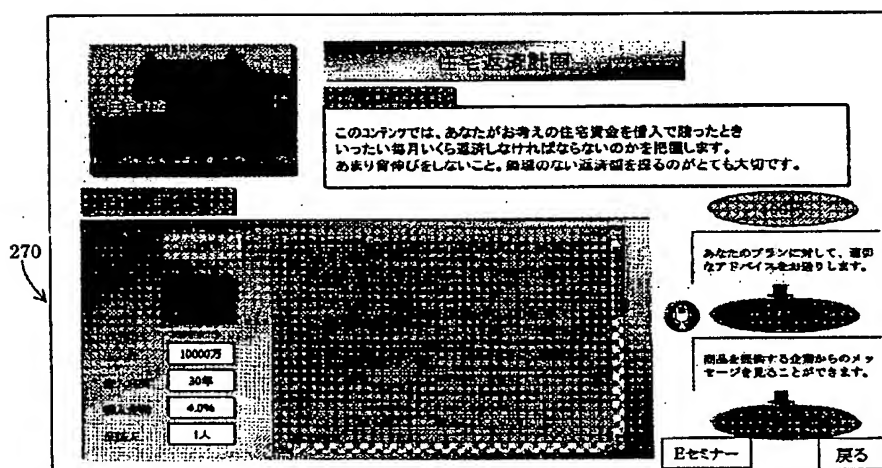
(b)

商品提供機関連絡先情報	営業者携帯電話番号	商品提供機関メールアドレス
-------------	-----------	---------------

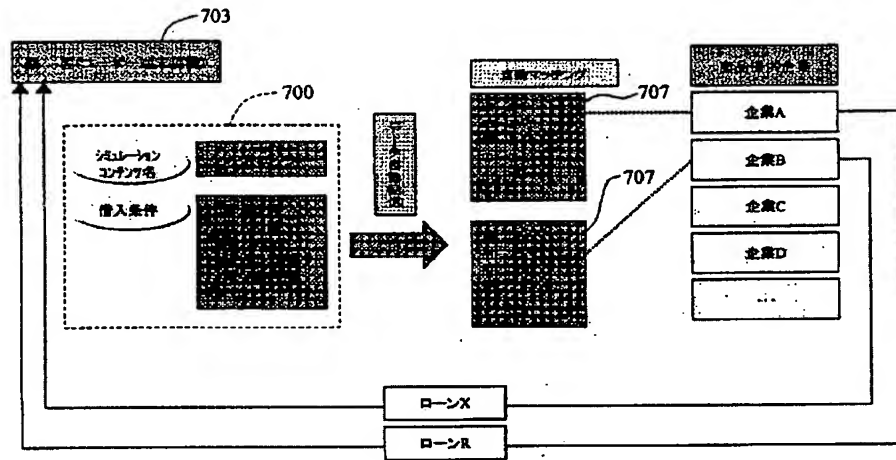
【図 14】



【図 15】



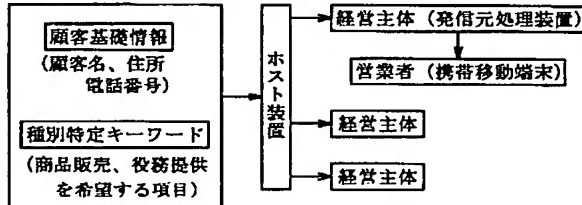
【図 16】



【図 17】

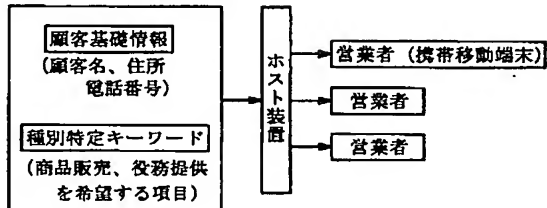
(a)

顧客 (ユーザー端末装置)



(b)

顧客 (ユーザー端末装置)



【図 19】

